



### 第3代代表幹事退任のご挨拶



#### 国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野 牛島俊和

2016年5月の年会で3年間の任期を終え、代表幹事を退任させていただきました。ご支援を頂きました会員の皆様に深くお礼申し上げます。

この間、眞貝副代表幹事、中島広報委員長、久保田庶務委員長と「会員の皆様に役立つことは何か？」を考えながらやって参りました。まず思い浮かぶのは年会の充実で、研究会から年会への支援を少しでも充実させ、年会長の先生が面白いプログラムを組みやすいようにお手伝いすることにしました。年会への参加支援も、「エピジェネティクス研究はしたいのだけれども、たまたま今年は辛い、」という方への支援であることを明確にしました。

本会の国際的な知名度も上げたいと思いました。それには、本来は長期的な取組みが必要です。この3年間では、2015年の国際ヒトエピゲノムコンソーシアム (IHEC) の東京大会で、JSE Award を設定し、各国からの参加者に本会の存在を知ってもらいました。今後も日本のエピジェネティクス研究の知名度があがり、ひいては会員の論文がきちんと評価され、国際学会での発表の機会が広がり、留学等の役にも立つようになると嬉しいと思っています。

日々の広報は、中島先生、中山先生がホームページの情報の充実とニュースレターの編集に大変に熱心に取り組んで下さりました。本会のホームページを m3 に移管したのは、広報委員の先生方のルーチーンの仕事が減らして、少しでも内容の充実に時間を使って頂きたいと考えたからです。人材募集や研究集会のお知らせもなるべくタイムリーに掲載されるようにお手伝いいたしました。

熊本地震に際しては、研究会で小回りが効くことを最大限に活かして、早い時期に熊本大学に寄付をさせていただきました。本会会員の善意を少しでも早くお届けし、少しでも有効に使って頂くことに気を遣いました。東日本大震災のときの本会からの支援が五十嵐先生の心に刻まれていて、いち早くご提案を頂いたこと有り難かったです。

やろうとされていてなかなかできなかったのが、パブリックリレーションズです。一般の方のエピジェネティクスへの関心が高まれば、会員の研究費獲得の機会も増える可能性があります。何より、自分たちの研究がよく理解されるのは嬉しいことです。ただ、このパブリックリレーションズにはそれなりの時間と労力が必要で、研究会として取り組むかどうかは今後の課題でしょうか。

これからも、エピジェネティクス好きの集まりである本会が、会員の知的好奇心を刺激し続け、研究環境の改善に貢献していくことを期待しています。そのために、今後も幹事の一人として眞貝新代表幹事を支えていきたいと思っています。



## 新代表幹事就任のご挨拶



理化学研究所 主任研究員  
眞貝洋一

牛島代表幹事（国立がん研究センター）の後を引き継ぎ、本年5月20日より代表幹事を拝命致しました。ご承認頂きました幹事の先生方、会員の方々に感謝申し上げます。

当研究会も2007年の発足から10年を迎えました。田嶋—佐々木—牛島代表幹事の牽引のもと、メンバーの活発な活動により、本研究会も順調に成長してきました。また、この間に、国内のエピジェネティクス研究に重要な貢献をしてきた（いる）JSTのさきがけ「エピジェネティクスの制御と生命機能」とA-MED（設立当初はJST）のCREST「エピゲノム研究に基づく診断・治療へ向けた新技術の創出」領域が立ち上がりましたが、この国家プロジェクトの発足にも本会は重要な役割を果たしてきたと思います。

10年の節目となった今年、先日大阪で開催された第10回年会（仲野徹先生（阪大）が大会長）では、「エピジェネティクス研究のこれまでとこれから」と題して、皆でこれからのエピジェネティクス研究の将来を議論したところです。これからさらに日本のエピジェネティクス研究が発展するように、本会の取りまとめ役という立場で、微力ながら何かお手伝いできればと思っております。もちろんそれには会員皆様の協力が不可欠であります。どうぞ、これからよろしくお願い致します。

### 情報を求めています！！

研究員・ポスドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしくお願いたします。お近くの広報委員に気軽にe-mailください。

(代表) 中島欽一 (kin1@scb.med.kyushu-u.ac.jp)  
梅澤明弘 (omezawa@1985.jukuin.keio.ac.jp)  
古関明彦 (koseki@rcai.riken.jp)  
胡桃坂仁志 (kurumizaka@waseda.jp)  
中山潤一 (jnakayam@nsc.nagoya-cu.ac.jp)

### 日本エピジェネティクス研究会事務局

佐賀大学医学部 分子生命科学講座  
分子遺伝学・エピジェネティクス分野内  
庶務担当幹事：副島英伸  
担当：八木ひとみ

住所：〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1  
TEL: 0952-34-2262  
E-mail: jse-jimukyoku@ml.cc.sags-u.ac.jp